

「担い手育成特定資産事業 活動事例紹介 屋代英明さん（二戸市）」

執筆者「二戸地方農林水産振興協議会（二戸農業改良普及センター） 高橋 司」

二戸市で野菜経営を開始した新規就農者の屋代英明さんを紹介します。

屋代さんは、一戸町の榊一戸夢ファームで2年間研修し、令和2年4月に就農しました。現在は、ミニトマト（露地ソバージュ栽培）、ねぎ、スナップえんどう等の栽培に取り組んでいます。

新規参入のため、経営開始に当たり農業機械を確保する必要があった屋代さんは、「新規就農スタートアップ支援事業」を活用し、令和2年7月に中古トラクターを導入しました。当初は、管理機で作業をしていたので大変苦労していましたが、導入後は、ほ場の耕起作業のほか、ねぎの掘り取り等、効率的に作業ができているそうです。

農業を志す以前は、料理人としてキャリアを積んでいた屋代さん。将来的には農産物を活用した加工品の開発やキッチンカー営業など、経営の多角化も検討していきたいと抱負を語ってくれました。



トラクターを利用してねぎを収穫



抱負を語る屋代さん